

「子どもたちは…」

サクラの花が咲く中、令和6年度が始まりました。校内は、さわやかな雰囲気にあふれています。

さて、過日に行われた授業参観、懇談会には、保護者の皆様方に多数御参加いただきありがとうございました。子どもたちは、家族に「自分のよさ」を認めてもらえる喜びにあふれ、いつもよりキラキラと輝いておりました。他の人に「見てもらう」「ほめてもらう」「応援してもらう」ということは、子どもの意欲や可能性を最大限に引き出すものです。私たちは、このことを常に忘れず、子どもたちとのふれあいを大切にしていきたいと思えます。

これからも、ご協力よろしくお願いたします。

「3つの願い —頑張る 協力 大切—」

6年生は、新年度早々に学年集会を開きました。先生方も子どもたちも意欲満々です。集会で先生方は、3つの願いをしました。それは、

1. 「最後によい学年だった」と思えるよう、先生と一緒に頑張り、協力していきましょう。
2. 「今、自分にできること」を大切にしましょう。
3. 学校生活を安心して過ごすためにも「いじめを絶対に許さない」という気持ちを大切にしましょう。

ということです。

ここで、「頑張る」「協力」「大切」をキーワードとして考えてみました。

「頑張る」は、目的に向かって精一杯活動する姿、困難にもめげず最後まで取り組む姿が浮かびます。6年生は、先生方の願いに応える力を持っています。「いつ、どこで発揮するのか」と思うと、とても楽しみになります。

「協力」は、3つの力が合わさって大きな力になるものと言えます。3つの力とは、「自分」「仲間」「周りの大人」ではないでしょうか。「頑張る」は、一人では難しいものです。チームで、仲間と共に、大人からの助言や援助があつてこそ、続けられるのだと思います。「協力」の姿は、子どもたちの「よさ」として現れております。6年生は、その「よさ」が、より深まっていくことを期待しています。

「大切」は、大いに差し迫るという意味があります。ですから、「まあいいか」「あとで」「そのうち」では間に合いません。学年目標に取り上げている「今」なのです。「今、自分にできることに取り組む」という気持ちは、常に持ち続けたいものです。

「頑張る」「協力」「大切」は、バラバラなものではなく、相互補完の関係にあると言えます。しかし、夢中になると無理をしてしまいがちです。心のゆとりも忘れないで欲しいと思います。

最後に3つの願いの中で扱っている「いじめ」についてです。「絶対に許さない」という気持ちを持つことは、スマイルに満ちた学校生活を過ごすうえで、とても重要なことです。これは、6年生だけの問題ではなく、学校全体で取り組む問題ともいえます。

ところで、「いじめ」が起きる要因の一つとして、「自分の考えや欲求が強すぎ、強引に押し通そう」とすることにあるようです。周りが見えなくなってしまうのですね。「協力」の気持ちが弱くなってしまった状態なのでしょう。こんな状態にならないためには、どうしたらよいのでしょうか。「協力」する意識を高め、「いじめ」を防ぐために次のようなことがすすめられております。

- ① 人と人との「結びつき」を広げる言葉を忘れない。(だいじょうぶ、おはよう、ごめんなさい 等)
- ② 人の「よさ」を認める言葉がけを心がける。(とってもいいね 一緒にやりたいな 等)

一生の中で、今年の経験は一度限りです。この貴重な体験の場として、「この学年で良かった」を、みんなの力で進めていきたいものです。

校長 古山 雅世

やなぎざし

令和6年度 5月号

